

9月議会 開会

8/27～9/30

9月定例議会が27日に開会しました。会期は9月30日までの35日間です。27日には執行部より、令和7年度一般会計決算の他特別会計決算、報告案件や人事案件、条例改正、令和8年度一般会計補正予算などの議案が提案されました。9月4日に議案質疑が、7日から10日まで4日間にわたり、一般質問が行われます。また、16日からは、令和7年度一般会計の決算集中審査が行われます。

令和7年度一般会計決算 歳入・歳出とも過去3番目の規模

歳入決算額	482億9149万7949円
歳出決算額	463億2510万3円

令和7年度の甲賀市一般会計決算は、歳入では個人所得の増加や企業の設備投資の増加などにより、市税全体では約3億7800万円の増加となりましたが、合併特例債などの借入の減少や、地方特例交付金の減少により、前年度に比べ約26億円の減少となりました。歳出では、国スポ・障スポの開催や物価高騰対策、信楽小学校改築工事などがありましたが、大型の施設整備事業が令和6年度と比べ大幅に減ったことから、前年度に比べ約27億円の減少となりました。

信楽土砂災害対応に約2億4千万円 令和8年度一般会計補正予算

7月7日に信楽町長野で発生した土砂災害に対し、地滑り調査など復旧に向けた調査・設計費用などに約1億8900万円、避難所の設置、仮設住宅の提供、生活支援金の支給などに約5100万円の補正予算（専決処分済）が提案されました。

政治倫理基準に違反「陳謝の勧告」が適当

糸目議員の一般質問での発言めぐり「政治倫理基準等違反審査」請求

「糸目仁樹議員の発言は甲賀市議会政治倫理条例に違反するのではないかと」との谷永兼二議員らの審査請求に対し、甲賀市議会政治倫理審査会（山岡光広委員長、他委員4名）は24日、審査結果報告書を戒脇浩議長に提出しました。審査会は、7月10日から8月18日まで6回の審査を重ね、糸目議員による一連の言動は、

政治倫理基準等に違反する行為であると認定し、「陳謝の勧告」を行うことが適当であるとの結論を出しました。報告書では、今回の判断は、議員の議会での発言を制限するものではない、しかし同時に、市民全体の代表として常に高い倫理観が求められることを自覚し、行動する必要があると指摘しています。

岐阜県高山市「庄川上流の管理型産廃処分場建設計画」

市長も議会も反対 下流域では10万筆、上流地域で4万筆の反対署名が知事に

高山市の反対運動を学ぶ

日本共産党湖南地区議員団が視察研修

日本共産党湖南地区議員団は8月21日、岐阜県高山市の庄川上流での産廃処分場建設計画反対の取り組みについて視察を行いました。

計画されている施設は管理型。計画地は庄川の水源地域にあたることから、地元の高山市はじめ、庄川流域や115キロ先の河口・富山湾周辺の住民らも飲み水や生活用水、農業用水、また観光や産業など影響は計り知れないと対策協議会などを結成、反対運動が広がり地元地域で4万6000筆、下流域の富山県でも10万筆を超える反対署名が集められ岐阜県知事に届けられました。高山市議会でも超党派で反対を表明、県へ意見書が提出され、特別委員会も設置されています。反対運動の広がりのなか、高山市長も昨年11月「建設を阻止するためになんでもやる」と「反対」の意思を表明しました。土山での産廃計画においても、農政連や土地改良区の方が、建設反対ののぼり旗を立てられるなど運動が広がっています。高山市の取り組みに学び、今後下流域にも運動を広げていくことが必要です。



反対運動を行っている団体の方（写真右の2名）に建設予定地を案内していただき、産廃処分場の計画概要について説明を受けました。写真左から岡田、山岡、西山の各議員

日本共産党

甲賀市議員団ニュース

2026年 8月 29日 第596号



山岡 光広
甲南町森尻 16
Tel 86-2985
Fax 86-0415



岡田 重美
土山町南土山甲 78-15
Tel 66-0696
Fax 66-0696



西山 実
水口町本丸 3-28
Tel 62-3044
Fax 62-3044